

2019年10月30日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院第2外科に、膵体尾部の疾患で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学外科学第2講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

腹腔鏡下膵体尾部切除術の短期・長期成績の評価に対する後ろ向き研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学外科学第2講座 講師 廣野 誠子

3. 研究の目的

膵体尾部の疾患は、膵体尾部切除術あるいは膵中央切除術の適応となります。最近、腹腔鏡手術の手術手技の向上により、腹腔鏡下膵体尾部切除術が普及してきました。本研究は、腹腔鏡下膵体尾部切除術が開腹による膵体尾部切除術や膵中央切除術よりも優れた術式かどうかを検討することを目的とします。本研究の成果により、膵体尾部疾患の患者さんに、よりよい手術を提供できることが期待できます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

膵体尾部疾患の患者さんで、2000年1月1日から2018年12月31日までの期間中に、膵体尾部疾患に対して手術を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、手術時間、出血量、輸血量、術後合併症、術後2年間の糖尿病、体重、下痢の程度に関する情報です。

(3) 方法

腹腔鏡下膵体尾部切除術後と膵体尾部切除術あるいは膵中央切除術の手術時間、出血量、輸血量、術後合併症、術後2年間の糖尿病、体重、下痢の程度を比較し、腹腔鏡下膵体尾部切除術の有用性を評価します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんや患者さんのご家族の方には、患者さんご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学外科学第 2 講座 担当医師 廣野 誠子

TEL : 073-441-0613 FAX : 073-446-6566

E-mail : seiko-h@wakayama-med.ac.jp